

街の灯り

作詞：阿久 悠 作詞：浜 圭介 作曲

そばに誰かいないと しずみそうなこの胸
まるで潮が引いたあとの 暗い海のように
ふれる肩のぬくもり 感じながら話を
もっともっと出来るならば

今はそれでいい

息で曇る窓に書いた 君の名前指でたどり
あとの言葉迷いながら そつと言った

街の灯りちらちら あれは何をささやく

愛がひとつ芽生えそうな

胸がはずむ時よ

好きな歌を耳のそばで 君の為に低く歌い
甘い涙さそいながら そして待った

街の灯りちらちら

あれは何をささやく

愛がひとつ芽生えそうな

胸がはずむ時よ